

# 住宅研究のフロンティアは どこにあるのか

— 10年後の未来に向けて、私たちは何をしたらよいのか —

2018年 7月14日(土)

13:00 ~ 18:00

建築会館ホール

東京都港区芝 5-26-20

## ■主題解説

野城智也 (東京大学生産技術研究所)

## ■話題提供 (講演順)

大月敏雄 (東京大学大学院)

「住まいと町をつなぐ空間計画」

園田真理子 (明治大学)

「20世紀中流階級のライフスタイルの崩壊と  
“後退戦”への臨み方」

後藤治 (工学院大学)

「地球環境時代の住宅と建築の歴史研究」

岩前篤 (近畿大学)

「健康と住宅・都市」

岡部明子 (東京大学大学院)

「都市への権利」

平山洋介 (神戸大学大学院)

「住宅所有と社会変化—理論と展望」

## ■討論会モデレーター

祐成保志 (東京大学大学院)

参加費：一般 500 円 / 学生無料 (学生証をご提示ください)

※参加費は、すべて東日本大震災・熊本地震復興義捐金として被災地へお送り致します

定員：150名

後援：一般社団法人 日本建築学会

# 住総研 創立 70 年記念シンポジウム

日本の住宅研究はどのように発展してきたのか。また、それはどこへ向かおうとしているのか。あるいは、向かっていくべきなのか。

この 10 年間で、世界の社会・経済構造は大きく変動した。グローバル化がもたらしたといわれる格差と貧困の進行は、中間層を解体し共同体の空洞化をもたらすとともに、異なる人種・宗教・文化の間での不寛容さを生み、紛争を激化させてきた。また、大地震や異常気象も出現頻度は高まっており、今後不確実な時代が訪れるものと考えられている。一方、情報化技術の発展は目覚ましく生活・働き方・健康等の面でもこれまでの常識を大きく変えようとしている。

この様な不確実性が高まる状況の中で住宅・家族・コミュニティ・まちづくりはどのように変わり、幸せな生活を続ける為に、今私たちはどのようにしなければならないのか。そしてその研究や実践活動はどこへ向かうのか？

今回のシンポジウムでは、未来を予測しつつ、時を超えて拡大する住宅の諸問題や社会的な包摂等について、住宅のそれぞれの分野の専門家にご登壇頂きその答えを探る。住宅研究に様々な分野で携わる研究者・実践者や住宅研究を志す大学院生・学生諸兄にも積極的なご参加をいただきたい。



野城智也  
主題解説

祐成保志  
討論会モデレーター

大月敏雄  
講演(右記6名)  
※講演順

園田真理子

後藤 治

岩前 篤

岡部明子

平山洋介

## ■申込方法

ホームページの申し込みフォームまたは以下の〈参加申込み〉にご記入の上、FAXでお申し込みください。

住総研 HP (<http://www.jusoken.or.jp/symposium/jusoken.html>)

このシンポジウムは継続職能研修(東京建築士会 CPD) 認定プログラム(5 単位)です。



## ■会場：建築会館ホール



JR 田町駅  
三田口徒歩 3 分  
都営地下鉄三田駅  
A3 出口徒歩 3 分

## ■申込締切日

7 月 12 日(木) まで(但し、定員(150 名)になり次第、メ切らせていただきます。)

## ■お問い合わせ

一般財団法人 住総研

〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-12-2 朝日ビルディング 2 階

E-mail [sympo@jusoken.or.jp](mailto:sympo@jusoken.or.jp) / TEL 03-3275-3078 / FAX 03-3275-3079

## 〈参加申込み〉

### 第 50 回(7 月 14 日) 住総研創立 70 年記念シンポジウム

ふりがな  
お名前：

ご所属 (  一般  学生 )：

※学生の方は、参加費無料。受付で「学生証」のご提示をお願い致します。

ご連絡先 (  ご所属  ご自宅 )：

( 〒      -      )

E-mail アドレス：

TEL：

FAX：

住総研 FAX：03-3275-3079

FAXでお申し込みの場合は、切り取らずにこのままご送信ください